

編集 後記

第62巻9号をお届けします。本号では原著1編、また研究ノート3編を掲載しております。まず、原著は前号と同様、地域高齢者を対象にした研究です。地域の高齢者を対象に主観的健康感を調査し、5年間にわたって追跡した結果、その低下を防ぐためには生活満足感を高めていくこと、特に後期高齢者で日常生活活動能力を維持することが重要であると述べられています。次に、看護師、医師の勤務に関する検討が、2報の研究ノートとしてまとめられています。一つは看護職の眠気に関する検討で、医療安全を考える上で、疲労感を考慮し、特に若年、経験の浅い看護職に対しての組織的な対策が重要であると結論づけています。また、もう一報はいわゆるコンビニ受診をテーマに、特に地方都市で地域医療に従事する医師をイメージしてそのバーンアウトとの関連を検討し、コンビニ受診対策が結果として地域医療を守る医師を守る上で重要であると示唆しています。病院レベル、地域レベルでの医療の質、そして安全を守るために、これらの検討は重要な資料となると思われます。今号ではさらにもう一報、研究ノートとして大阪府における麻疹の発生動向がまとめられています。WHOから麻疹排除の認定を受けた一方、患者報告数が増加傾向にあるわが国で、地域の発生動向をまとめ、その対策として、発症から届け出までの期間を可能な限り短縮することや、全ての感受性者に対する麻疹含有ワクチン接種が必要であると述べています。このように、今号に掲載された論文の対象者や調査方法はさまざまですが、それぞれが他の地域での検討や対象者を変えた調査などにつながり、発展していくことが期待されます。そのような視点からも、読者の皆様の日々の活動を、貴重なエビデンスとして提供していただけるよう、投稿をお待ちしております。
(鈴木孝太)

次号予告 (第62巻・第10号)

原著

受療行動調査の患者不満足に医療施設特性が及ぼす影響……………柏原康佑, 他

研究ノート

高齢者の外出行動と社会的・余暇的活動における性差と地域差

JAGESプロジェクトから……………斎藤 民, 他
全国保健所アンケートに基づくてんかんの地域保健支援体制に関する実態調査……………藤井正美, 他

資料

東日本大震災に伴う保健統計の世帯数と患者数の補完推計……………橋本修二, 他